

紀伊半島三県議会 交流会議

7月11日、和歌山県有田川町において、紀伊半島三県（三重県、奈良県、和歌山県）議会による、第5回紀伊半島三県議会交流会議を開催しました。

会議では、紀伊半島三県議会の議員が会し、紀伊半島の振興および発展に資するため、各県が直面している「大規模地震対策」や「急激に進展する人口減少の中での過疎対策」などの共通課題について意見交換を行い、紀伊半島各県議会議員の連携・交流を図りました。

また、それぞれの課題の中から、大規模地震発生時における応急対策活動への財政措置や過疎対策事業の再構築などにかかるとの国への要望書の提出について三県で合意しました。

第1回三重県議会 トップセミナー

7月15日、全議員を対象とした第1回三重県議会トップセミナーを開催しました。

三重県議会トップセミナーは、議員の政策形成能力の向上を図り、県議会での政策議論の充実や深化につなげていくことを目的

としており、地域社会における課題や県政の重要事項などについて、専門家を招いた講座などを開催していくものです。

今回は「観光まちづくりの現状とこれからの方向性」をテーマに、東海大学観光学部教授で前近畿日本ツーリスト（株）社長の太田孝氏にお話をいただきました。セミナーでは、三重県が持たれているイメージを認識することが必要であるとし、国内旅行の現状を踏まえた観光振興の在り方やインバウンド（海外からの誘客）による振興策などについてのご提案をいただきました。



太田氏による講演

会期等のさらなる 見直しに関する 検証検討プロジェクト会議

三重県議会では、議会機能を強化するため会期等の見直しを行っていますが、さらなる検証検討を行うため、議会改革推進会議に「会期等のさらなる見直しに関する検証検討プロジェクト会議」を設置し、7月15日に

第1回の会議を開催しました。今後、県議会の附属機関である「議会改革諮問会議」から受けた最終答申を踏まえ、通年制議会への移行などの検討を進めていきます。

議会基本条例に関する 検証検討プロジェクト会議

三重県議会は、平成18年に都道府県議会で初めて議会基本条例を制定しました。その後4年以上経過し、制定後の議会改革の取り組みや今後新たに取り組みべき方向性を見据えた検証が必要であるため、議会改革推進会議に「議会基本条例に関する検証検討プロジェクト会議」を設置し、7月15日に第1回の会議を開催しました。

各委員からは、検討すべき事項や課題について多岐にわたる意見が出され、検討の優先順位をつけながら課題ごとに議論を進めていきます。

「2011年版県政報告書」 に基づく今後の「県政運営」 等に関する申し入れ

8月2日、予算決算常任委員会および各行政部門別常任委員

会から知事に対し、「2011年版県政報告書」に基づく今後の「県政運営」等に関して、次のとおり申し入れを行いました。

①「県民しあわせプラン」の三つの社会像の実現に向けた取り組みについて

- ・県内の雇用経済情勢をより詳細に分析のうえ、雇用・経済の回復を支える取り組みを講ずること

- ・地震対策について、基盤整備を進めるとともに、県民の防災意識向上の取り組みなどにより誰もが安心できる災害に強い地域社会を築くこと

- ・「美しく国おこし・三重」の取り組みに多くの県民が参画していただけるよう情報発信を強化し、この取り組みを核にして、新たな絆づくりをより積極的に展開すること

②新しい県政ビジョンの策定に向けて

- ・厳しい財政状況の中、新たな行政需要に的確に対応するため、事務事業の見直しや歳入確保などによる財源の確保に努め、新しい県政ビジョンを着実に推進することができるとの県財政を確立すること